

「レビキャリ」登録

## 1年で約100先増

3メガ参画、りそなも検討

地域経済活性化支援機構（REVIC）が運営する人材紹介プラットフォーム「REVICarrier」（レビキャリ）の登録金融機関数が、3月末までに250先となる見通し。2025年3

月末の156先から1年間で約100先増える。25年度は新たに3メガバンクが参画したほか、りそな銀行も登録を検討しており、地域企業の経営人材確保に向けた全国ネットワークが強化される。

これまで、レビキャリは地域企業と経営人材をつなぐ人材マッチング基盤として、地域金融機関が仲介役となって、登録された大企業人材と地域の中堅・中小企業を引き合わせていた。25年7月までに仲介役として全ての地域銀行が加盟。信用金庫や信用組合の登録も増えている。

3メガ銀が加わったことについて、REVICの柴田聡常務は「メガバ

ンクは全国的な活動が可能で、広域的な営業網に強みを持つ。地理的な広がりを特色として発揮してもらえるとありがたい」と語る。

大手行の活動が本格化し、取引先で人材不足に関するニーズの発掘が進めば、マッチング件数の増加が期待できる。REVICでは足元で累計355件のマッチング件数の早期1000件達成を目指す。金融庁が25年12月に公表した「地域金融力強化プラン」で、人材確保支援の重要性が明記されたことも追い風になりそうだ。